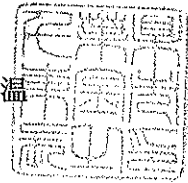




東建土第32号  
平成19年5月10日

国土交通省道路局長 様

東金市長 志賀 直温



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付、国道企第114号にて依頼のありました標記の件につきまして、  
別紙のとおり回答いたします。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見

東金市建設部土木課

### 1. 都市計画道路の整備

都市計画道路については、各自治体における土地利用計画非常に重要な役割を担うものとして位置付けがなされていますが、全国的にみて整備状況が芳しくない現状です。

つきましては、これらの整備促進に向けた積極的な支援といった政策の展開を期待するとともに、幹線的役割を担うものについては、国等により早急に整備をするべきであると考えます。

なお、都市計画道路については、高度経済成長期等において都市基盤整備の促進を図るために都市計画決定されましたが、その後の社会情勢の変化による財政状況の悪化に伴い、現在まで未着手となっているものが大部分です。

現状においても、都市基盤整備への積極的な財政投資は依然として困難な状況であることから、都市計画の見直しを含め、基本的な方向性を国において示して頂きたいと考えます。

### 2. 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の完成

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）については、東日本高速道路株式会社が事業主体となり、平成12年3月に都市計画決定、平成13年度事業化され、木更津JCT～木更津東IC間が平成19年3月開通、木更津東IC～茂原長南IC間は平成21年度、茂原長南IC間～東金IC間は平成22年度完成予定であります。

現在、東金市内の用地取得の進捗率は、面積で60%台、地権者数で50%台となっており、工事は平成19年度から着工される予定であります。

圏央道については、東金市にとって交通、流通、観光等に係る主要幹線道路として位置付けられておりますので、用地交渉及び工事等が順調に進み、予定どおり完成することを強く要望いたします。

また、松尾横芝IC～大栄JCT間は現在計画中であります。県内の圏央道の全線開通を図るためにも、本区間の早期事業化を望むものであります。

### 3. 国道、県道の維持管理

現在の厳しい財政状況において、今後、国道及び県道の新設工事は限られた地域が対象となることが想定されます。

このような中で、既存の国・県道の維持管理として、街路灯の整備、街路樹の管理、道路舗装の補修、道路清掃業務等の実施は、地味な仕事ではありますが、地域の道路・生活環境の整備、道路美化、さらには仕事・観光等における他の県や市町村からの来客者にも良い印象を与え、その街の集客力を上げることにつながると考えられます。

このようなことから、現在東金市に存在する国・県道の維持管理につきまして、相応の予算配分と充実した道路整備を要望いたします。